

No. 000

2015.12.15

http://worldly-design.jp

ま.ば.ら ペイパー



まばらぼ

ma.ba.lab

2015.12.21～工事が始まります。ご迷惑をお掛けいたします。

旧高木邸を事務所&ギャラリースペースに。

内川との出会い

2010年、主人(広島出身)とともに富山にUターンしてきた私にとっては、15年以上ぶりの富山。1年目は、県外から富山へ移住・定住したい人に向けた相談窓口&情報発信係(富山県定住コンシェルジュ)として、県内の様々な場所にお邪魔しました。その中で、県内に移住を考慮おられた北海道の方と、市の職員の方とともに住まいの候補を探しに来たときに、内川の風景に、心から衝撃を受けました。

生きている文化財

ゆるやかにカーブした川沿いに停泊する漁船、お隣と壁をくっつけて建っている色や形も様々な家屋、水辺と劇的に近い暮らしぶり…。立派な地藏堂、銭湯や寺社の多さなど、ふと目にしたものにも、湊町独特の歴史や願い、生活の知恵が

まっています。高校生まで富山市に住んでいたの、「新湊」が海のまちだとは知っていただけ、内川の存在は知りませんでした。調べてみると、鎌倉時代には越中の政治・経済・文化の中心地だったとか、室町時代に10代将軍・足利義材がここに幕府をつくったとか、とにかく歴史が深くて驚きました。最近では「日本のベニス」とも呼ばれているというのを知り、これは県内の有名観光地である立山黒部アルペンルートや世界遺産の五箇山に匹敵するくらいすごい場所なのではないか?と真剣に思うようになりました。むしろ内川には、今も「人々の暮らしがある」という点で、すごく懐の深い魅力を感じたのです。

畳屋さんを見つける

東京時代は、日本の「地方」の活性化に向けた調査・研究、場づくりなどをしている会社におりましたから、北海道から鹿児島県まで、富山以上に

“田舎”な場所にはよく足を運んできました。今までもたくさんの人々や風景に感動してきましたが、“内川級”に衝撃を受けたところはそうありません。あまりに素敵で、何度もまち歩きをしているうちに、ある建物に出会いました。東橋の近くにあった六角形の空き家。聞けばもと畳屋さんだとのこと。その建物を初めて見たとき、主人はまるで雷に打たれたかのように立ち尽くしていました。そこから「ここをカフェにする!」と思い立ち、いろんなご縁やご協力をいただき、オープンする2013年の1月までに約3年かかりました。

風景が少しずつ変わっていく

主人のカフェも、おかげさまで何とかかんとかもうすぐ3年を迎えようとしています。私たちがこの内川の風景に心を奪われてからそろそろ6年経ったことになりました。

そして、この6年で、大好きな景色が刻々と失われてきたことも感じています。突如として「スコン」と空き地になったところ、明らかに住人を失って急激に廃墟感を醸し出す家…。「こんな風景、世界中探したってどこにもない」と力説しては、県内外からいろんな人を連れて来て一緒に歩くたびに「やっぱりすごい場所だ!」と魅力を発見しているのに、しょせん富山市から通っている分際では、目の前の大好きな風景を“ちょっこし”変えられないことに、無力感も味わってきました。

本当は空いているお家を全部買い取ってしまいたいくらいの気持ちですが、私も主人も「よそ者」な上に、財力もないので、ご縁をいただいた場所にひとつずつ、ちょっとずつ誠心誠意関わっていくしかないと思っていた矢先に、高木さんの

お宅との出会いがありました。本当はすぐに譲っていただく手続きができればよかったのですが、銀行さんの融資や弊社の業績なども鑑みて、結局1年くらい待っていただき、ようやく取得・リノベーション開始の運びとなりました。

2016年春、移転予定です

元・家主の高木さんご夫妻とも何度かお会いし、昔はここで、お米屋さんをされていたことや、元・勤労青少年ホームの場所が、図書館だったり役場だったりのことがあったことなどをうかがいました。初代新湊市長さんの銅像があるのにも気づきましたし、由緒ある気比住吉社もご近所にあり、歴史や文化のつまった場所だということに改めて感じております。

このあたりが、江戸時代やもっとも昔はどんな風だったのかを勝手に想像しては、様々な人々やものや文化が行き交ったこの場所に、何だかとても愛しさを感じます。

土蔵や枠組みはできるだけ残して、弊社の事務所兼ギャラリーと、地域の方々にもちょっと入っていただけるようなコミュニティスペースを整備します。伝統工法を用いつつも、使いやすく楽しく、地域の未来を語れる場所にしたいと思っています。2016年の春には、リニューアル・引っ越しをして、5月のお獅子をこちらにぜひお迎えできたらと考えております。弊社は小さなデザインとまちづくりの会社ですが、少しずつ近所のみならず、なにとぞ、宜しくお願いいたします。

株式会社 ワールドリー・デザイン
代表取締役 明石あおい



模型 1

模型1：正面は「さまのこ」を復活させます。ざっくり言いますと、道路側は事務所空間、内川側はギャラリー&コミュニティスペースです。正面には日替わりか週替わりで、なにか飾りたいと思っています。模型2：中庭や土蔵はできるだけ残します。模型3：2階には休憩スペースをつくります。女子の多い職場なので、お昼時や打合せなど、日中は少しキャピキャピとうるさくする時もあるかもしれませんが、夜はなるべく静かにいたします。なにとぞよろしくお願いいたします。



模型 2



模型 3



Worldly Designについて まちづくり×デザインの小さな会社です。

“Worldly (ワールドリー)”とは「世間」という意味。世間の“Design (デザイン)”をしています

株式会社ワールドリー・デザインは、2011年6月に新しくできた、まちづくりとデザインの会社です。最初は一人だけで始めましたが、少しずつ仲間が増えて、現在は、アルバイト含め、総勢6名の女子ばかりの会社です。

パンフレットや小冊子づくり

お仕事は、地域活性化のための戦略づくりや、

情報発信のためのパンフレットや読み物づくりなどが中心です。いつも、自分たちの足で出向いていて、いろいろとお話をうかがって、その場所やその人にしかない瞬間や魅力を引き出すお手伝いをしています。

スタッフが女性ばかりということもあり、いつも何かおいしい食べ物の話をしています。また、代表含むスタッフ全員が、県外出身者もしくは県外

在住経験があるため、“富山の当たり前”に驚くことも少なくありません。

「当たり前」の反対は「有り難い」

日頃食べているものや、お祭り、慣習など、普段その地域の人々が普通にしていることが、私たちにとっては、珍しく、有り難く、宝物のようにキラキラ輝いて見えるのです。「当たり前」の反対は「有

り難い」。そういう視点で、地元のみなさんと一緒になって魅力を発見し、磨く活動を、富山県内を中心に活動しております。

私たちができるのは、写真撮影、取材、原稿作成、イラストレーション、デザインなどですので、扱うものは紙でつくられたものが多いのですが、ときには、商品そのものから企画・デザインすることもありますし、市民活動やキャンペーンなどの形のない“しくみ”や人の動きを企画・デザインすることもあります。

お仕事は県や市などの自治体のものから、地元企業さん、個人の方など、様々です。名刺1枚から、地域全体のPRやブランディングまで、みなさんと最初から考えて、よいもの、長く楽しく使えるものを作るお手伝いをしています。

まだまだ若くて小さな会社ですが、なにとぞよろしくお願いたします。

白石あおいと申します。
京都府出身。5歳のとき、父の実家・岩手県に移り住み、高校卒業とともに上京。
以来、富山からはずと、はなれていまいが、15年ぶりに帰ってきた富山は、宝の山で、毎日、ステキな美味しい食べもの、素晴らしい風景に、じいじがされてあります。酒好きです。

代表取締役
白石あおい

oishii担当
橋川 絢花

橋川 絢花と申します。
母のふるさと・富山に移住して2年ちよと経過しました!!!
近所のおじちゃん、おばちゃんから届けてくれる“季節の美味しいもん”ですっかりフワフワになりました。

坂本理恵と申します。
実家は八尾の山中で、11尾に18年暮らしていたので、海を見ただけでテンションが上がります!! これから毎日運河も目撃して暮らすのが楽しみです。よろしくお願いたします。

omoshii担当
坂本 理恵

富山出身、滑川在住。実家は射水。一児の母。本と旅行が好きです。

tekuteku担当
大里 泉

はじめまして。大里泉と申します。
わたしは富山県仙臺市出身です。ずっと仙台に住んでいましたが、転職を機に富山にきました。食べること大好きです。歩きの大好きです。どうぞよろしくお願いたします。

pokapoka担当
小林 麻衣

例えば、こんなものを作っています。



新湊寺社さんぽ (2015 / A5 版小冊子)

内川周辺のお寺や神社をまとめ、湊町独特の信仰のあり方を紹介したガイドブックです。



内川さんぽ (2013 / A5 版小冊子)

内川周辺の魅力を独自のポイントでまとめました。新湊庁舎でも少し配布されています。



内川さんぽマップ (2014 / 看板 × 2カ所)

「内川さんぽ」に掲載していたマップを大きくして、川沿い散策用の案内看板に。



「人生の約束」ロケ地マップ等 (2015 / 各種)

来年1月9日に公開される映画「人生の約束」のロケ地マップや特別新聞、広告などを制作。



ぶち旅ガイドブック (2015 / A5 版小冊子)

あいの風とやま鉄道の19駅から、各駅のおすすめコースをまとめたガイドブックです。



ふくおかたろぐ (2014 / A4 版冊子)

高岡市福岡町の商店街の店主さんたちとともに地元をディープに掘り下げた冊子。



いしかわの小さな幸めぐり (2015 / パンフ)

石川県下20商工会の女性部のみなさんと地元ならではの「幸」をまとめたパンフレット。



ようそろ (2014~ / A4 版パンフ)

富山県にある医療法人財団の季刊誌です。県内のおすすめスポットなども紹介しています。